

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 6月 2日

1 事業名	市営庭球場管理事業			コード	113407	
2 担当部課	部等	教育部	課等	スポーツ振興課	作成者	伊藤 雅章
3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち			
		政策	文化・スポーツの振興	施策	スポーツの振興	
		予算科目	スポーツ施設管理事業費	業務委託	全部委託	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市スポーツ施設条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要 (簡潔に)	砂入り人工芝コート6面・クレートコート6面		
目的	対象者	市民等施設利用者	
	意図	市営庭球場利用者が、安全・快適に利用できるよう、指定管理者を指定し施設の適正な管理運営を行う。	

5 施設の管理運営状況			
指定管理者	シンコースポーツ株式会社	25年度指定管理料	5,600,000 円
施設における 通常業務	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料等の徴収		
事業の実施内容	<p>(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <p>○業務内容 清掃、環境衛生管理、建築物・建設設備保守管理、備品等維持管理、警備、応急措置、窓口受付、大会等準備、駐車場運営等</p> <p>○自主事業等 施設稼働率の低い時間帯にテニス教室を実施。</p>		
前年度の課題 への対応	人工芝修繕工事を計19箇所実施した。 また、既存の人工芝コートを長期間使用できるよう、芝の消耗の少ないコートから利用してもらうよう貸出方法を変更した。		

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	91.6%	105.2%	100.0%	
年間開設日数（日）	352	351	351	350
1日の開設時間（時間）	13.0	13.0	13.0	13.0
年間利用可能時間（時間）	4,576	4,563	4,563	4,550
年間利用実績（時間）	4,191	4,799	4,563	
② 年間利用者数（人）	32,509	31,295	36,745	36,745
有料利用者数	24,103	19,777	26,345	26,345
無料利用者数	2,253	4,147	2,123	2,123
減免措置者数	6,153	7,371	8,277	8,277
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	92.4	89.2	104.7	105.0
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	4,445,216	5,761,014	7,160,588	5,903,900
経常経費	4,445,216	5,761,014	5,612,888	5,903,900
臨時的経費	0	0	1,547,700	0
* 臨時的経費の説明	人工芝修繕工事			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	160,000	160,000	160,000	160,000
正規職員の人数(人)	0.02	0.02	0.02	0.02
③ 合計コスト(①+②)	4,605,216	5,921,014	7,320,588	6,063,900
前年度比		128.6%	123.6%	82.8%
財源				
一般財源	-1,519,613	-160,435	905,954	-1,279,100
内訳				
特定財源	6,124,829	6,081,449	6,414,634	7,343,000
* 特定財源の説明	施設使用料、財産使用料、財産管理収入、私用電気料			
④ 施設使用料年間収入額	5,686,880	5,652,410	6,009,910	6,628,000
⑤ 年間減免措置額	1,274,625	1,813,125	1,795,510	1,795,510
⑥ 受益者負担割合	156.6%	129.6%	109.0%	142.7%
⑦ 活動一単位あたりコスト	142	189	157	
前年度比		133.6%	83.0%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価 (CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比	117.4%
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額	前年度比	106.3%

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)	
	エンドライン内側の人工芝の消耗が激しい。	
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容)	
	貸出方法の厳格化を図り、人工芝の消耗を抑えるよう努める。	
改善開始時期	平成26年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			